



ギター 超 名曲

Around the World
松尾俊介クラシックギターコンサート

アクティビティ

2022 月 6 月 30 日 (木)

国立市立第一小学校

5 年 1 組 10:45~11:30 / 5 年 2 組 11:35~12:20

アクティビティ

2022 月 7 月 1 日 (金)

国立市立第六小学校

4 年 1 組 9:35~10:20 / 4 年 2 組 10:40~11:25

地域アクティビティ

2022 月 7 月 1 日 (金)

城山さとのいえミニコンサート

16:30~17:00

ホール公演

2021 月 7 月 9 日 (土)

ギター超名曲 *Around the World*

松尾俊介クラシックギターコンサート

15:00~17:00 (途中休憩あり)

公共ホール音楽活性化事業

(おんかつ)とは

「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」はクラシック音楽の演奏家を地域に派遣し、アクティビティ(参加体験型の地域交流プログラム)と公共ホールでのコンサートと共につくる事業です。アクティビティは普段、クラシックの演奏会に足を運ばない人に興味を持ってもらうため、様々な工夫を凝らした訪問コンサート企画です。コンサートは、アクティビティで触れあった地域の方々へ、アーティストとホールの担当者によるオリジナリティ溢れるコンサートを実施します。国立市ではこのおんかつ事業を2008より実施、2020年より導入後の支援事業としてさらなる定着を目指しています。



企画・制作・運営

昨年度から引き続き学校・教育委員会の協力を得て、Google社G SuiteシステムのGoogle Classroomを使い対象クラスへ動画を提供、保護者に直接視聴してもらえるという試みを行いました。制作側としては余裕を持って準備をしましたが、小学校でICT支援員が常駐していないことや、担当教員の体調不良などもあり、どれだけの保護者に視聴してもらえたかは、検証できませんでした。次回は検証可能な方法(YouTubeの限定公開など)を要検討。今年度は感染予防のため、ホールの最前列封鎖と観客のみなさまにご協力をお願いをして、休憩ありの120分公演を実施することができました。アクティビティでもマスク着用を徹底し、非接触の手法を駆使した演出を取り入れました。アクティビティ/ホール公演の内容に関して、松尾氏とは4か月前の3月には初回の打合せ(Zoom)機会をもち、その後もメールとZoom等で直接やりとりし、内容を組み立てました。

公共ホール音楽活性化支援事業
くにたち市民芸術小ホール

ギター超名曲
Around the World
松尾俊介クラシックギターコンサート

2022.7.9 Sat
15:00 (open 14:30)

バッハのドイツに代表されるヨーロッパの国々から大西洋を渡ってキューバ・ブラジル・アルゼンチンなどラテン・アメリカまで。クラシックギターの奏でる名曲とともに世界一周をしませんか。

演奏曲目 一曲目は予定のため変更の場合があります
F. タレガ / アルハンブラの思い出 A. ビヤソラ / プエノスアイレスの冬
A. ルビエラ / 映画「禁じられた遊び」より 愛のロマンス
H. アーレン / 武満徹作曲 / 映画「オズの魔法使い」より 虹の彼方へ
A.C. ジョビン / 映画「黒いオルフェ」より フェリジダージ

チケット 一般1,500円 中学生以下500円 全席自由 2022.4.19(火) 発売

ご予約・お問合せ
くにたち市民芸術小ホール
JR国立駅南口からバス
JR矢川駅 / 谷保駅から徒歩10分
〒186-0003 国立市富士見台2-48-1
042-574-1515 hall@kuzai-dan.or.jp

チケット取り扱い
芸術小ホール 042-574-1515
18国立駅南口 042-505-6691
白十字国立南口店 042-572-0416
Confatti www.confatti-web.com

公共ホール音楽活性化支援事業
くにたち市民芸術小ホール

ギター超名曲
Around the World
松尾俊介クラシックギターコンサート

松尾俊介 Shunsuke Matsuo

パリ国立高等音楽院を審査員満場一致の首席で卒業。2005年1stアルバム「グランド」をリリースデビュー。内外の音楽祭や東京オペラシティ・B+C、東京音楽祭「東洋でバハ」に出演。ソリスト、室内楽奏者として多彩な演奏活動を展開している。

2016年のリサイタル「武満徹へのオマージュ」がNHK-FMで放送されたほか、2019年には史上初のギター伴奏によるシュベルト「白鳥の歌」全曲演奏が高い評価を得る。地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。CD「Variety/オンセ作品集」。「ギターが奏でるバッハの世界」、「トリアエラ・ローラン・ティアン作品集」、「エニキス〜武満徹へのオマージュ」はいずれもレコード芸術誌特選盤に選ばれる。

「Around the World」は公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)の一環です。普段クラシック音楽に触れる機会が少ない人に興味を持ってもらうための交流プログラム「アクティビティ」と、本格的に観しみたい、かつオリジナリティ溢れるプログラムの「コンサート」を行っています。国立市ではコンサートと共に市内の小中学校でアクティビティを行い、こどもたちに本物と身近に接触する機会を創ります。クラシック音楽にも、愛好家にも、音楽との幸せな出会いを。



アクティビティ

M1: チェロ組曲第一番／ J.S. バッハ

M2: タンゴ・アン・スカイ／ R. ディアンス

M3: 『吟遊詩人の調べ』 より

《遙かなる友へ》／ J.K. メルツ

M4: ハンガリー風幻想曲／ J.K. メルツ

挨拶の一曲として演奏したチェロ組曲第一番は校内放送で流れたこともあるようで、登場によって興奮した雰囲気だった子どもたちがスッと聴くモードに。



「小さなオーケストラ・クラシックギターの秘密」と題して、表の板が 2 mm しかないけれど裏側にはたくさんの木が貼りつけてあって、約 40 キロの強さで張られてる弦を支えているというお話をレントゲン写真と共に。さらにそのギターからは、チャイムのような音、ベースのような音、打楽器のような音、・・・のようにまるでオーケストラさながら多くの種類の音をその場で聴かせながら紹介、今紹介した音を探してみて！ とタンゴ・アン・スカイを演奏。



後半はパワーポイントの資料を使い、200 年前の作曲からのメッセージを再現。楽譜指示を作曲家メルツが呼びかけているかのように音声で流し、指示を解釈した演奏を松尾氏がする、という形で新たな音楽の楽しみ方を提案。一言も一音も逃さずに聴き入ろうとする子どもたちの様子が見られました。

最後にこの日話した全て思い出しながら渾身の一曲、としてハンガリー風幻想曲を披露。どの子も 45 分前とはそれぞれ全く違った顔つきで見つめ、演奏を聴き入る瞬間でした。

さとのいえ ミニコンサート

M1: タンゴ・アン・スカイ

M2: 前奏曲 変ホ長調 BWV998(頭出し)

M2: アルハンブラの思い出

M3: 『黒いオルフェ』より ア・フェリシダーチ



松尾氏生涯で 3 度目の野外コンサートということで、PA 機器の調整について思案していたところ、舞台スタッフの助言によりご本人所有の機器 (ZOOM プリアンプ & エフェクト A3/ 尾花マイク /bingo アンプ) を駆使することによって、最適な音響環境をつくることに成功。広く気持ちの良い緑の空間に、爽やかなクラシックギターの音が遠くまで響き渡りました。

時期として梅雨の真っ只中、雨天の場合の代替会場はさとのいえから徒歩で行ける (くにたち郷土文化館) に設定。当日は異例



とも位置づけられる内容。クラシックギターの最も有名と言われる曲のひとつ、「アルハンブラの思い出」をメロディだけ抜き出したり、あえて駄作となるような飾りつけをしたり、特徴であるトレモロ奏法のことなども丁寧に解説してからフル演奏。聴いてわかる！すぐ楽しめる！ミニコンサートとなりました。

ホールコンサート

M1: 前奏曲 変ホ長調 BWV998/J.S. バッハ
 M2: 魔笛の主題による変奏曲 Op.9/F. ソル
 M3: 『吟遊詩人の調べ』より
 ≪マルヴィーナへ≫≪不安≫≪遙かなる友へ≫ /J.k. メルツ
 M4: アラビア風奇想曲 /F. タレガ
 M5: アルハンブラの思い出 /F. タレガ
 M6: アストゥリアス /L. アルベニス
 ~~~~休憩約 15分~~~~

M7: 『ディア・ハンター』より カヴァティーナ  
 M8: 『禁じられた遊び』より テーマ  
 M9: 『オズの魔法使い』より 虹の彼方へ  
 M10: 『黒いオルフェ』より ア・フェリシダーヂ  
 M11: エストレリータ /M.M. ポンセ  
 M12: エリのためのパッサカリア /L. ブローウェル  
 M13: 祭りのあるキューバの風景 /L. ブローウェル  
 M14: 大聖堂 /A. バリオス＝マンゴレ  
 M15: プエノスアイレスの冬 /A. ピアソラ  
 EC: タンゴ・アン・スカイ / 愛の賛歌

昨年度までと同様、保護者や地域の市民に取り組みが伝わるよう、ホールエントランスではアクティビティのスライドを放映を実施。観客目線にたって楽しめるプログラムを！ 当ホールの機構だからこそ可能な演出を！ 合言葉に、様々な演出をアーティストと制作・舞台共に連携し考える機会が得られました。



A



B

### 《実施した演出》

- ◆オープニングから休憩まではじっくりと演奏が楽しめるように**クラシカルな照明**。(A)
- ◆後半の一部の曲限定、アーティストの手元がクローズアップして映し出した**リアルタイム映像** (B)
- ◆譜面台に**小型カメラ** (Go Pro) を設置。背面の反響板に違和感なくかつダイナミックに投影できるよう調整。(C)
- ◆後半の映画音楽では LED ライトを含む照明デザインで曲とマッチした印象的な**光と影の演出**。(D)
- ◆曲のイメージに合わせた背景画像で**非日常感を演出**。(E)
- ◆松尾氏撮影のパラグアイ大聖堂の**背景を投影**。(F)



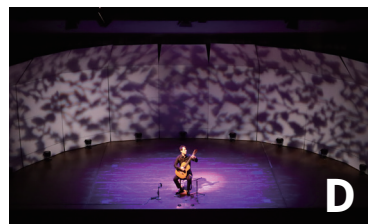
C

C



担当者、舞台スタッフ、アーティストとで公演を作り上げる過程を経験でき、演出の工夫を凝らした満足度の高いプログラムをお客様に提供することができました。

初めての方でも演奏に入り込みやすく、愛好家にとっても新たな楽しみを提供でき、「ギターの音がこんなにも美しいなんて」「昔を思い出しました」など、継続的にコンサートへ足を運んでもらえるようなきっかけになったという手応えがありました。



2022 OASIS No.190

1



文化・芸術・スポーツ情報  
～地域にある 楽しく 健康で 豊かな 時間・空間～

# オアシス

第190号  
令和4年 2022  
6・7月号

発行：公益財団法人くたち文化・スポーツ振興財団  
〒186-0003 国立市富士見台 2-48-1  
<https://oasis.kcn.or.jp/>  
市民芸術小ホール / 郷土文化館 / 古民家  
市民総合体育館 / 財団総務課

隔月5日発行

Artist Interview  
ギター  
超名曲

## Around the World

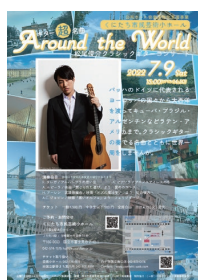
松尾俊介クラシックギターコンサート

公共ホール音楽活性化支援事業



7月9日土 15:00開演 (14:30開場) ホール 全席自由 一般 1,500円 中学生以下 500円

チケット発売中



演奏曲目  
A.L.ビーク作N.I.E.パズル編/  
映画「禁じられた遊び」のテーマ  
F.タレガ/  
アルハンブラの思い出  
H.アーレン 武満徹編曲/  
映画「オズの魔法使い」より  
虹の彼方へ ほか



後援：国立市教育委員会 助成：(一財)地域創造 制作協力：日本クラシック音楽事業協会

クラシックギタリストの松尾俊介さんに今回のコンサートプログラムについての想い、そこに至るまでの自身の活動について伺いました。

### 例えるなら、胸やけしないコース料理

クラシックの音楽・演奏会というと、どこかに数回の高さがあるかと思うのですが、それを一番取り払えるのがギターであり、親しみやすい楽器。今回、超名曲とつけたのは、そもそも聴いていて楽しいと思われる曲、そう認識されることの多い曲をメインに集めました。

例えばイタリアの名曲だけでなくイタリア食が続くようなもので、サラダが和食だったらには中華の魚料理がきて、フレンチのメインがきたら、胸やけしないし、飽きない。それが出来るってギターが一番得意としているところなのかなと思います。ヨーロッパだけでなく大西洋越えて地球の南半球まで行ってしまう、自然と世界中の音楽を入れることが出来る。そして、胸やけしないってところが両立させられる。ギター音楽の“イイトコドリ”のコンサートです。

### 名曲はむちゃくちゃシンプル！

「アルハンブラの思い出」はヨーロッパとアラビアン要素が入ってきます。実は僕自身、留学から帰国後の演奏活動を

始めてからリクエストで弾き始めた曲なのですが、お客さんへの浸透度が抜群に良くてびっくりしました。名曲ってこんなにも人の心に浸透していく具合が高いものなのかな、それはなぜなのかな、と思ったら、名曲はだいたいシンプルなんです。下がって上がる下がって上がる、それだけ。むちゃくちゃシンプル。

西洋の音楽って音階、長短の調からできているのですが、その素材が結構そのままで、その素材にうまいソースをつけた感じのものが名曲になるのかなと思います。何が起って何がそんなにもストンと入ってくるのかなと思ったら、シンプルにできている。色々な曲を聴いてそう思いました。

素材をどんな風に彩るのかというのが演奏家の腕の見せ所であり、一番面白いところ。そういう風に美味しいのが、美味しさってどんなだろうって、それを追及するのが僕らの仕事で、それを口に入れて食べてもらうのがお客さまかなと思っています。

### 現代音楽と古楽を両端から攻めていく

留学していた最後の頃、当時は現代音楽に興味があったのですが「アルハンブラの思い出」も弾いたことがなくて、現代のPOPなものを弾いているのがあまりうまくなかったんですよ、あまりにも真面目すぎて(笑) 僕には古楽が合っているのであれば、古楽と現代音楽、その二つをMIXしたいんじゃないかってアイデアが出ました。ちょうどその時に室内楽科での相手の都合で突然帰国することになりました。図らずも帰国後の古楽を中心としたリサイタルとCDのレコーディングが短期間に重なったこともあって、初CDが偶然古楽と現代音楽という形になりました。

その時に現代音楽と古楽が自分に合っていると感じていたのですが、現代音楽から寄っていった近代・モダンなもの、バロックから初期の古典期のもの、だんだんとクラシックの中心、古典の時代に向かって、内側に両端から攻めていく。それを10年ぐらいかけて色々なものを咀嚼しながら古典のほうに向いていく感じのレパートリーを演奏活動しながら創っていったら、な、とその頃考えました。

10年間でそのレパートリーを一周できたら、60歳くらいまで演奏を続けていたとしたら4ターンある。でも現実そんなに甘くなくて、色々なお仕事をいただくことがあって、思ったとおりにレパートリーはすまないですし、もう少し時間はかかって古典までいくことになりました。

そういった経緯を経たときに、色々なものを拾っていく、自分が計画していたことと違うところの枝葉にものすごく大きな実がなっていたりするもので、そういうものを取上げて、経験していくうちに出来上がったのが、今回の「アラウンド・ザ・ワールド」のプログラムです。

### 甘味とうま味 強めのコンサート

僕としてはこういうプログラムを組もうと思って人生を歩んできたり計画していたわけじゃない。自分が生きていくうちに、こういうこともあいうこともやる、と見つけ出して偶然出会ってきたものの中にあつた、美味しい木の実みたいなものが、実はすごく美味しかった。

それを集めていって、プログラムの骨格ができあがって、そこからもっと美味しくするために足して工夫したのが今回のプログラムになりました。僕が持っているあの甘い部分、苦みとか渋みとかのある美味しさよりも、甘味とうま味の強めのコンサートになるのかなと思っています。

松尾俊介  
SHUNSUKE Matsuo

パリ国立高等音楽院を審査員満場一致の首席で卒業。2005年、古楽と現代音楽に焦点を当てた1stアルバム「ヴァリエ」をリリースデビュー。内外の音楽祭や東京オペラシティB-2C、東京・音楽祭などに出演。ソリスト、室内楽奏者として多彩な演奏活動を展開している。



## アンケート

入場者数 **182** 名のお客様から **114** 枚のアンケートをいただきました。公演の満足度を問う質問に対してとても良かった (87%) と良かった (13%) と満足を表す回答 100% となり、クラシックギターコンサートが初めてという方にも満足していただきました。また市内 71% と地域のお客様にも来ていただきつつ、幅広くギターファンのみなさまにもご来場いただきました。

アンケートより抜粋 (原文ママ)

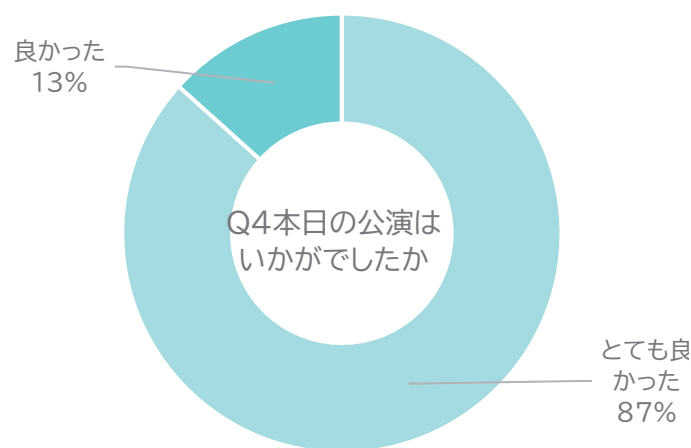
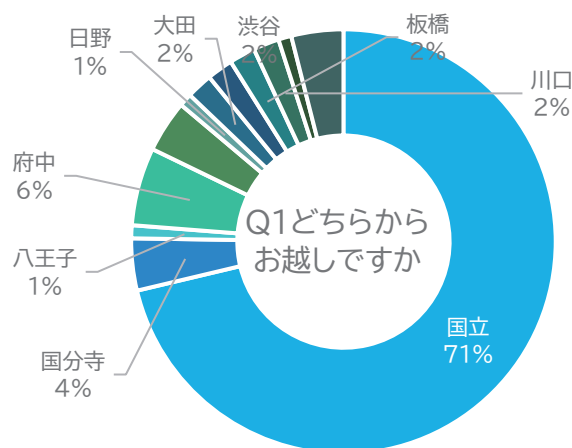
参加拒否するほど音楽の授業を嫌がっていた息子が国立六小での生演奏にととても感銘を受け、自ら望んでコンサートに行きたいと言いだしたほどでした。とても良い演奏を聞かせていただきました。ありがとうございました。

ギターの音色の奥深さに初めて触れた気がします。目を閉じて聴いていると時折ピアノの伴奏がついているのかと錯覚してしまうところもありました。これが正しい感想なのかわかりませんが・・・とても豊かな午後のひと時でした。ありがとうございました。

ギターのコンサートに来たのは初めてでしたが、生で聴くプロの方のギターの音色はこんなにも深みがあるんだなあと、本当にすごいなあとおもいました。

世界を旅した気分です。曲の解説、選曲もとてもよかったです。

クラシックギターのコンサートは初めてでした。哀愁がありとても美しい音で感動しました。アルハンブラの思い出は定番ですが本当に素敵でした。バッハもとてもよかったです。お話も楽しかったです。アンコール曲もストリダも本当に良かったです。コンサート是非また行きたいと思いました。どうもありがとうございました。



## 課題及び今後の取り組み

新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置状況下での開催にあたり、招待は WEB 受付、カンフェティ (WEB 申込チケット) 増席、最前列封鎖のうえで自由席という形にしました。招待は地域差の影響が少数に留まりましたが、カンフェティ 17 枚、その他委託店 2 店計 24 枚、窓口以外で 40 枚以上はこれまででも多い印象。また、5 月から開始した QR コード決済も当日券含め 12 枚あり、購入・決済の方法が変わりつつあることが伺えました。よりお客様のニーズに合う方法をご用意できるよう検討する必要があります。また、これまで自由席での整理券配布は当事業ではありませんでした。結果今回の販売数だとお客様に少数ながら不満が出るのがわかりました。整理券配布のひとつの目安として次回以降対応できるようにしたいです。

今回、スケジュールを余裕をもって組むことで、関連性のある公演に多くの挟み込みを 2 か月以上前から実施 (従来の 2-3 倍)。また地元のクラシックギターファンにも届くよう、利用者等にも直接お声がけし、一般客の集客については健闘した模様。一方、事業周知をすすめるための招待や関係者の場は少なく、次年度はここにも注力したいです。(事業担当: 竹内恵美子)

令和 4 年公共ホール音楽活性化支援事業 国立市 (支援プログラム)  
主催: くにたち文化・スポーツ振興財団 くにたち市民芸術小ホール

アーティスト: 松尾俊介 マネージメント: 株式会社ミリオンコンサート 和田健美 岩永直也

ホール館長: 門倉俊明 事業担当: 竹内恵美子 事業補助: 野坂寿行

舞台担当: 有限会社アイジャクス 原島和久 (音響) 木原立春 (照明) 横山弘之 (舞台)

助成: (一社) 地域創造 制作協力: (一社) 日本クラシック音楽事業協会

協力: 国立市教育委員会 (後援) 秋山美奈子先生 (国立第一小学校) 椎谷末沙先生 (国立第六小学校)